

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【公表番号】特表2015-521975(P2015-521975A)

【公表日】平成27年8月3日(2015.8.3)

【年通号数】公開・登録公報2015-049

【出願番号】特願2015-520771(P2015-520771)

【国際特許分類】

B 6 3 B 35/79 (2006.01)

【F I】

B 6 3 B 35/79 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月29日(2016.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水上スポーツ用具用のフィンのベース部分を受け取るために構成された第1開放キャビティを有したフィンプラグであって、このフィンプラグを有する水上スポーツ用具に前記水上スポーツ用具用のフィンを固定する固定構造において、

弾性バイアス作用ロッドおよびこのバイアス作用ロッドと連動する突出部材を有しており、前記フィンの前記ベース部分が、前記第1開放キャビティに受け取られたときに作動する構成の前記突出部材を含む前記固定構造であり、前記バイアス作用ロッドおよび前記突出部材が、前記第1開放キャビティから前記フィンの抜け出ることを抑制することを特徴とする水上スポーツ用具用のフィンを固定する固定構造。

【請求項2】

前記バイアス作用ロッドを前記第1開放キャビティに隣接して設けた請求項1に記載の固定構造。

【請求項3】

前記バイアス作用ロッドが、前記フィンの前記ベース部分の側面に対して実質的に平行に延在する請求項1または2に記載の固定構造。

【請求項4】

前記突出部材が、前記フィンの前記ベース部分の前記側面に当接する請求項3に記載の固定構造。

【請求項5】

前記フィンの前記ベース部分の前記側面が傾斜面部を有し、この傾斜面部が前記突出部材と連動し、前記第1開放キャビティ内に内向き及び横向きの少なくともいずれかの向きに働く力を前記バイアス作用ロッドの作用で前記ベース部分に加える請求項3または請求項4に記載の固定構造。

【請求項6】

前方領域および後方領域を有し、フィンの抜け出しを抑制する抑制補助手段およびフィン係合手段をその前方領域に設けるか、あるいは、その抑制補助手段又はそのフィン係合手段をその前方領域に設ける請求項1乃至請求項5のいずれか1項に記載の固定構造。

【請求項7】

前記突出部材を前記後方領域に設けた請求項6に記載の固定構造。

【請求項 8】

前記フィン係合手段が前記フィンの一部分に乗り上げる棚部分を有し、前記フィンの前記ベース部分が前記第1開放キャビティ内の受け取られた時に前記フィンが動くことを抑制する請求項6または請求項7に記載の固定構造。

【請求項 9】

前記突出部材が、前記バイアス作用ロッドの周囲に設けられたリング状部材であり且つ前記バイアス作用ロッドの周囲で回転する前記突出部材であり、あるいは、前記バイアス作用ロッドの周囲に設けられたリング状部材であり又は前記バイアス作用ロッドの周囲で回転する前記突出部材である請求項1乃至請求項8のいずれか1項に記載の固定構造。

【請求項 10】

前記リング状部材が2つの側面間に延在する円周外面を有し、この円周外面がこれら2つの側面間に凸形状を有する請求項9に記載の固定構造。

【請求項 11】

請求項1乃至請求項10のいずれか1項に記載の前記フィンプラグの前記第1開放キャビティ内に受け取られるベース部分を有することを特徴する水上スポーツ用具用のフィン。

【請求項 12】

前記ベース部分が側面を有し、この側面が前記フィンプラグで弾性的に突出部材に当接する請求項11に記載の水上スポーツ用具用のフィン。

【請求項 13】

前記側面が傾斜面部を有し、この傾斜面部が前記突出部材と連動し、前記第1開放キャビティ内に、内向き及び横向きの少なくともいずれかの向きに働く力を前記フィンプラグの前記バイアス作用ロッドの作用で前記水上スポーツ用具用のフィンの前記ベース部分に加える請求項12に記載の水上スポーツ用具用のフィン。

【請求項 14】

前記傾斜面部と前記突出部材の相互作用が、前記フィンと前記フィンプラグの両方でスナップロックを起こす請求項12または請求項13に記載の水上スポーツ用具用のフィン。

【請求項 15】

前記傾斜面部が前記フィンの側面に位置し、前記フィンの前記側面に内向き及び横向きの少なくともいずれかの向きに働く力を加えることで、前記バイアス作用ロッドが湾曲する請求項12乃至請求項14のいずれか1項に記載の水上スポーツ用具用のフィン。

【請求項 16】

前記フィンの一部分が前記フィンプラグの前記棚部分の下に入り込み、前記フィンの前記ベース部分が前記第1開放キャビティ内に受け取られた時に前記フィンの動きを抑制する請求項11乃至請求項15のいずれか1項に記載の水上スポーツ用具用のフィン。

【請求項 17】

前記ベース部分が第1タブおよび第2タブを有し、前記フィンプラグが第1開放キャビティおよび第2開放キャビティを有し、この第2開放キャビティにフィン係合手段の前記棚部分を含み、この第1タブが前記第1開放キャビティ内に受け取られ、かつこの第2タブが前記第2開放キャビティ内に受け取られる請求項16に記載の水上スポーツ用具用のフィン。

【請求項 18】

前記側面が溝付き部分を有し、前記溝付き部分の少なくとも一部が前記傾斜面部になる請求項12乃至請求項17のいずれか1項に記載の水上スポーツ用具用のフィン。

【請求項 19】

前記ベース部分が前側タブおよび後側タブの2つのタブを有し、前記前側タブのその先端部にはフィンプラグの棚部分に取り付ける部分を設け、前記後側タブがフィンプラグキャビティの側面にある突出部材で着脱可能に保持されると共に、

その突出部材との相互作用を得る形状構造を前記後側タブの側面位置に設けた請求項 1 1 に記載の水上スポーツ用具フィン。

【請求項 2 0】

前記突出部材が球根状部分を有し、この球根状部分が前記フィンのベース部分に係合する構造である請求項 1 乃至請求項 1 0 のいずれか 1 項に記載の固定構造。

【請求項 2 1】

前記球根状部分は前記バイアス作用ロッドの周りに形成される車輪状部材の一部を構成し、この車輪状部材は、前記ベース部分の装着時、あるいは取り外し時に前記フィンの前記ベース部分に係合するさいに前記バイアス作用ロッドの周りで回転できる構造であり、前記フィンの前記ベース部分が前記フィンプラグに装着された時に前記ベース部分を前記第 1 開放キャビティ内に保持する請求項 2 0 に記載の固定構造。

【請求項 2 2】

前記突出部材および前記フィンの前記ベース部分を共にスナップロックする請求項 1 乃至請求項 1 0 あるいは請求項 2 0 乃至請求項 2 1 のいずれか 1 項に記載の固定構造。

【請求項 2 3】

前記フィンの前記ベース部分が前記第 1 開放キャビティ内で受け取られる時、前記バイアス作用ロッドが湾曲するように形状を成して構成される請求項 1 乃至請求項 1 0 あるいは請求項 2 0 乃至請求項 2 2 のいずれか 1 項に記載の固定構造。